

目 標

我々、いわき経済同友会会員は、企業経営者の異業種交流活動を通して、三つの目的を達成し、仲間の連帯を深め、地域経済の発展と活性化をはかり、夢と希望に満ちあふれた地域社会づくりをめざします。

SEA IWAKI

12月号／2011年12月1日発行

3つの目的

- 1つ よい会社をつくろう
- 2つ よい経営者になろう
- 3つ よい経営環境をつくろう

11月21日(月)
18:30～講演会

創立記念公開講演会

いわきワシントンホテル
椿山荘

演題 食で日本を建て直せ !! -これからの食と農を考える-
講師 農学博士 東京農業大学名誉教授 小泉 武夫氏

いわき経済同友会 創立記念公開講演会



【小泉武夫氏講演趣旨】

皆さん こんにちは。

私は、この3月11日から農林水産省の政策研究所という所へ急ぎよ、行くことになりました。“これからの農林水産業をどうしたらよいのか”について話し合っております。そんな話も含めて今日は講演したいと思います。

現在、私は国の食糧自給率向上協議会、全国地産地消推進協議会の会長をやっていますが、とにかく地元が活性化しないことには日本は埋没していくというのが私の考え方であります。

皆さんご存じの通り、日本の食糧自給率はカロリーベースで40%を切ってしまいました。G7、G20の国の中で最も低い自給率です。これは大変な状況で

す。それでは何故、大変なのか？ 現代において食糧とは兵器に匹敵すると考えなければなりません。食糧を持たないということは、兵器を持たないということなのです。つまり国力が弱い、外交においても弱いということなのです。

さて、いわきを中心に考えてみると、かつて日本人は魚を世界一捕って食べていました。先程も話しましたが食糧自給率は39%、魚に関しては54%で、もうすぐ50%をきるだろうと言われています。以前の水産王国もどんどん衰退の一途をたどっています。

では、どうしたらいいのだろうか？と皆が思い悩んでいます。しかし、国はほとんど動かない。ですから、私たちは何とか地方から変えなければと思い、いろいろな事をやってまいりました。

現在、日本の就農者の平均年齢は、66.2歳（3年位前の数字ですが）を越しています。農業に若い人がいない。この為に耕作放棄面積が39万8千ヘクタール（埼玉県全部と群馬県の一部に匹敵）にもなっています。この状況をどうすれば良いのか。思い切った施策を行なわなければなりません。

それから日本の農業、水産業にも言える事ですが、流通を確立しないで、農業生産・水揚げ量のアップを言っていることが一番の問題点であると考えています。

○3年前に兵庫県である実験をしました。

兵庫県農業協同組合連合会、兵庫県漁業協同組合連合会、兵庫県森林組合、兵庫県生活協同組合でユニオンをつくりました。生産者→販売者→消費者が縦のラインで結ばれるといっぺんにいろいろなものが動き出しました。

○別府(大分県)トキワスーパーの例

農家は朝採りの野菜を近所のスーパーへ持って行きます。10時開店と同時にプロの板前さんやレストランのシェフ等が買いに来ます。新鮮、安い、その上、朝早く市場に行かなくてもいいのです。このようにお客様の需要と地域に開かれたスーパーの在り方が求められています。11%の手数料をスーパーに支払い、あとは農家の収入になります。

○食糧自給率を上げるにはイギリス方式にする。

(農水省データ)

	日本	イギリス
1968年	78%	42%
2009年	40%	74%

イギリスは外国から農産物を購入するため、これ以上は自給率を上げないようです。因みにアメリカ127%、フランス167%、オーストリアは200%を越えています。

イギリスは何をしたのか？ 地方に食糧事務所を作り、農家1軒1軒に農作物の生産を委託しました。それをその地域の学校給食で使い、市場で売るという100%地産地消を確立し、作った人の顔が見える安全、安心がまもれて自給率アップをさせました。

創立記念懇親パーティ



しかし、日本では誰が農作物を作るのか？ そこで私はこう考えました。

○徴農制のすすめ

若者よ、食糧を60、70歳にたよるな！ 今こそ農業に若い人の力が必要です。16～25歳の間に農家へ行って農作業をして食糧生産に従事する。高校、大学生の皆さんのは場合は特別に単位を認めるし、会社員の場合は、その間会社が給料を負担し、国が保障する。こんな事を提案しています。

○大分大山町農業協同組合の成功例（詳細はネットで）

日本の農家の一軒当たりの収入は平均478万円です。しかし、JA大山の一軒当たりの収入は2,500万円で、多い人は数億円を越えます。このJA大山には矢羽田正豪氏というカリスマ組合長がいます。彼を中心に「みんな同じ事をやっていてはダメだ。農業で生活するならプロになろう」と“大山プロフェッショナル農業集団”をつくり、まず土作りから始め、次に麦作り、他で売らずにパンにして、大分市の街のホテル、レストランへ売り、博多に持っていくて売る。

6次産業を実践しているのです。

一次産業 生産（小麦、イチゴを作る）

二次産業 加工（パン、うどん、ジャムを作る）

三次産業 販売（自分で付加価値を付け販売）

$1 \times 2 \times 3 = 6$ これが6次産業なのです。

つぎに、JA大山では早く、うまくて、安い、そして心のケアをしてくれるレストランを村内につくった。2軒目は大分市に、3軒目は福岡の天神につくった。

このようにして、地域が「食」を起点とした経済システムを構築しました。

○その他の例

岐阜県中津川「サラダコスモス」の例（詳細はネットで）

北海道のシンデレラのしづく（詳細はネットで）

青森県トキワ養鶏場の例（詳細はネットで）

さあ時間が来てしまいました。

「農」はやり方次第です。

今の日本は本当におかしいし、国がやらないなら、我々が力を合わせてやらなければならない！

◆誕生日プレゼント



左から寺主君男代表幹事、鈴木淳夫さん(11月29日生)、
武藤眞一さん(11月8日生) 小野賢司さん(11月2日生)
吉田嘉徳さん(11月6日生)

11月グループ会報告

経営秘訣研究グループ会

■日 時 12月1日(木曜日)18:30~

■場 所 建設会館 3F

●内 容 11月度グループ会は第2回の勉強会を行いました。今年はメンバーに講義形式で各業界の話をいただき、様々な制度や知識を学ぼうという方向で進めていきます。

まず江東微生物研究所武藤さんより「検査で安心!」というテーマでお話しいただきました。最初に自社の仕事内容をご説明いただき、震災時に様々な役割を果たしたこと、その時の裏話等を教えていただきました。本題では健康診断時の検査報告書の見方についてご説明いただきました。横文字が多く意味が分かりづらい項目が多いことから、参加者から質問も活発に出て、詳しく教えていただき勉強になりました。

続いてA B S小野さんから「アルパインとは(歴史と取り組みについて)」というテーマでご講義いただきました。近くてもよく理解されていない(?)アルパインについて、生い立ちから企業戦略、市場状況、今後の展開など様々な項目でご説明いただきました。リーマンショック、震災、タイの洪水などマイナス要因が続いているますが、それを乗り越えいわきの代表として頑張ってほしいものです。

最後に山崎活版山崎さんより「新規開拓営業の経験を語る」というテーマでお話しいただきました。上京していた当時、新規獲得の営業に奔走し、四苦八苦しながらも徐々に獲得していった経験を話されました。他にもどういった広告が有効的であるかなど、参加者からもご意見いただき、大変勉強になりました。

以上、今回も充実した内容であつという間に2時間が過ぎました。参加者からも今年は内容は面白いとの声をいただいております。来年も多数のご参加お願いいたします。



経営品質向上グループ会

■日 時 11月28日(月曜日)18:30~

■場 所 マンマ・マリー郷ヶ丘店

●内 容 11月度の経営品質向上(第2)グループ会は、11月28日(月)18:30より、マンマ・マリィ郷ヶ丘店にて、株マルベリィ 代表取締役社長 桑名基勝様を講

師に迎え、演題の「フランチャイズビジネスを取り入れた経営」について、ご講演を頂きました。

先ず、全員握手から始まるマルベリィの会議と同じく、参加者全員の握手から始まり、グループ11店舗のパート・アルバイトへの料理コンテストの映像を紹介して頂きました。

社員自らがDVD企画をするまでに育て上げた講師のリーダーシップを学ばさせて頂きました。

アイスクリーム業は起業50周年を迎えるが、20年前より、講師自身が新ビジネスを立ち上げ、40%の市場シェアを目指して取り組んでいるピザ・スペゲティビジネスへの取組～差別化による自社ブランド100店舗への挑戦～を紹介して頂きました。

当初始めたモスバーガーのフランチャイズやラーメンビジネスの撤収を通したお話は、経営者の熱意と努力の重要性などを再認識する内容でした。

講演後は、本場の貴重な生ハム・チーズを使ったイタリアンの創作料理を食しながら、講師と一緒に本音を語る場を楽しみました。

スポーツ交流グループ会

■日 時 11月15日(火曜日) 8:50集合

■場 所 宮戸ヒルズカントリークラブ

●内 容 会員増強委員会と合同で、交流ゴルフコンペを今年も開催いたしました。宮戸ヒルズカントリークラブの西コースは、2003年から「日本ゴルフトアー選手権宮戸ヒルズカップ」が開催されている本格的なチャンピオンコースです。恵まれた自然の中に、池、クリーク、樹木、バンカーを効果的に配置し、戦略性に富んだプロがガ絶賛したほど難易度が高いゴルフ場のことでした。天気にも恵まれて、絶好のゴルフ日和で、楽しいゴルフを満喫してきました。優勝は、阿部好則さんでした。

資質向上グループ会

■日 時 11月26日(土曜日) 8:00集合

■場 所 常陸・笠間方面

1 雨引山樂法寺(真言宗)：雨引觀音とも言われ、587年に開山。約3万m²の敷地。本堂は1655～58年。仁王門は鎌倉時代の物。本尊の木造觀世音菩薩立像(国重要文化財)をはじめ、茨城県の重要文化財が数多くあり、建物のみならず彫刻や天然記念物の見事さに感心しきり。眺望もよく、左に靈峰筑波山・右手に下館方面の関東平野が見て取れ、秋景色と豊かな自然に心を奪われていました。

2 出雲大社分院：島根の出雲大社と長野の諏訪大社との

- 延長線上を選んで創建。
- 1992(平成4)年に出雲大社の大國主大神を分霊鎮座した、新しい社でした。
- 注連縄や台湾檜の大きさに、展望台からの里山の見事さに想いこもごも。
- 3 西念寺：浄土真宗の別格本山として、国道50号線の側と思えない静かな場所である。1217年越後への流罪を許された親鸞は、稻田の地に草庵を結び20年間にわたり、関東や東北にかけて布教に勤め、1224年に親鸞の思想を表した「教行信証」を完成させた処と言われる。改装された本堂内や天然記念物の大イチョウ(葉イチョウ)の見事さは、飾り気の無い参道や山門と見事に一体化して見事でした。
- 4 笠間稲荷神社：650～54年創建。常陸風土記にも記載がある笠間村に豊作と商売繁盛を祈る人々が、今日まで参詣者が耐えない社である。多くの人は奥にある神社本殿(国重要文化財)を見る事がない。本日参加のメンバーも改めて、彫刻の見事さに感心。更に奥に笠間稲荷美術館があり一見の価値あり。菊祭りは終了したが、庭園のあちこちに丹精込めた菊が展示されており、見事なものでした。
- 5 昼食は、門前にある蕎麦屋で名物の稲荷蕎麦を食す。食後は酒造蔵や土産品店も…。
- 6 日動美術館：1972(昭和47)年に、笠間出身の日動画廊創設者・長谷川夫妻の創業45周年と金婚式を記念して創設した私立美術館である。常設展示の、ルノ
- アール・ゴッホ・ピカソなどのフランス館やパレット館、更に野外彫刻庭園や企画展示館等を拝観する。
- 7 春風万里荘(同上分館)：北大路魯山人が住居していた北鎌倉の茅葺きの民家を移築。魯山人は書家として、また篆刻・絵画・陶芸・漆工芸・食通として多方面に才能を發揮し「万能の異才」といわれた。万里荘には、高橋は清・草野心平ほか所蔵品が展示されている。庭園も四季折々の風情ある見事なものでした。
- *いわきから100km圏内にある、歴史と文化財の数々。レジャー施設も観光に欠かせないが、産業発展の礎となつた鉄道・炭鉱・発電・江筋・製糸・造船等また豊かな自然環境をも取り込み、今回の震災を機にいわき市のみならず100km圏のネットワークを再構築し、ゆとりある滞在型の観光を考えるのも良いのでは?有意義な一日でした。

●新入会員紹介●

みや の ゆ み こ
宮野由美子

磐城実業(株) 代表取締役
業種／温浴施設
生年月日／1966年1月14日
会社所在地 〒971-8171
いわき市小浜町中の作45-1
趣味 乗馬

(社)いわき青年会議所との懇親会

当会の寺主代表から会の活動状況の披露を含めた挨拶の後、いわきJCさんからも、会の活動を含めて理事長吉田氏よりご挨拶を頂いた。

特に3月発生の東日本大震災の時の会としての対応と、その後の対応、そして将来を見据えた動きを確認しあった。

その後、各位が会での役職と担当内容、それが勤務する企業の紹介を含めた自己紹介をし合って安島副代表の乾杯の発声で懇親に入った。

中締めは、懇親会の総括を含めて松崎副代表が行い、閉会となった。

【企画総務委員会】



1月新年例会・賀詞交歓会

平成24年1月12日(木) 18:30～1月幹事会・1月新年例会

会費／5,000円

18:45～講演会

会場／スパリゾートハワイアンズ ラピータ

20:00～賀詞交歓会

テーマ いわきの地域再生は経済特区で 東日本国際大学経済情報学部教授 大川信行氏
酒席を考慮し、送迎バスを準備致しますのでご利用下さい。

いわき経済同友会
ご入会のお薦め

いわき市内の企業経営者ならどなたでも入会できます

●会の趣旨に賛同される方は会員の推薦と所定の手続きによりどなたでも参加できます。
お問い合わせは下記へどうぞ。ご入会を心からお待ちしております。

事務局 〒970-8026 いわき市平字童子町4番地-18 いわき建設会館 4F
TEL 0246-23-1200 FAX 0246-23-1211
<http://www.seaiwaki.jp>
E-mail:doyukai@triton.ocn.ne.jp

発行　いわき経済同友会 寺主君男代表幹事
編集 情報委員会 委員長 坂本和久
副委員長／阿部晴康・岩尾英子・清水雅昭・
鈴木清友・田村慎太郎
委員／山崎勇一郎